

九州のゲートウェイ都市機能強化【13億6,448万円】

広域連携誘客事業【9,920万円】

欧米豪等からの誘客を図るため、海外Webメディアを活用した情報発信や国内大型イベントの機会を捉えたPR等により、西日本・九州の自治体等と連携した、西のゴールデンルート等の取組みを推進する。



新たなJAPANを開拓せよ。
＜西のゴールデンルートの推進＞

地下空間の緑化【9,894万円】

観光客の利用が多い地下鉄駅(天神・博多・福岡空港)において、印象的な緑のおもてなしを行うため、壁面等を利用した緑化を行う。



＜地下空間の緑化イメージ＞

修学旅行による都市圏周遊の推進【7,913万円】

市内に宿泊する修学旅行による周遊観光を推進するため、貸切バス代支援の拡充や情報発信を行う。

福岡型ワーケーション推進事業【6,090万円】

国内を代表するデジタルノマドの拠点都市として、世界中のデジタルノマドが集結する国際カンファレンスの開催や、海外キーパーソンの影響力を活かした情報発信等により、さらなる誘客に取り組む。



＜国際カンファレンスの様子＞

※デジタルノマド：国際的なリモートワーカー

国内を代表するMICE拠点の形成【7億5,333万円】

MICE関連施設が一体的に配置されたMICE拠点の形成を目指し、MICEの需要やトレンドを踏まえた機能強化に向けた検討等を行う。

観光案内機能の強化事業	【1,718万円】
快適な通信環境の提供	【251万円】
デジタルマーケティング回遊分析	【9,394万円】
デジタルマーケティング情報発信	【9,012万円】
高付加価値旅行の推進による誘客事業	【6,925万円】

※事業費右の金額は宿泊税及び観光振興基金の充当額。
※各項目で万円未満を四捨五入しているため、合計と合わない場合がある。

MICE都市としてのプレゼンス向上【3億4,624万円】

MICE誘致強化事業【7,720万円】

MICE支援事業【1億3,044万円】

都市のプレゼンス向上につながる国際会議やビジネス機会の創出につながる展示会など、質の高いMICEの誘致強化に向けた助成金等の支援内容の充実に取り組む。



<日本初開催の
世界観光ガイド連盟総会>

植物園における「Fukuoka Flower Show」 の開催等【8,034万円】

花をテーマとしたMICE「Fukuoka Flower Show」の開催や高質なガーデン・花装飾等を行う。



食のユニバーサル対応推進事業【2,264万円】

サステナブルツーリズム推進事業【3,563万円】

地域や市民生活と調和した持続可能な観光振興の推進【14億9,514万円】

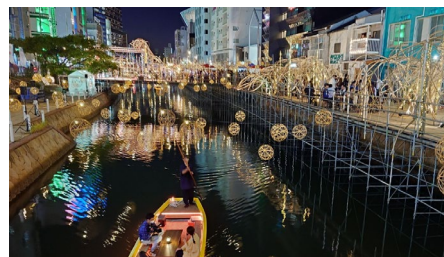
博多旧市街プロジェクト【8,424万円】

国史跡博多遺跡整備活用事業【1,840万円】

歴史・文化に配慮した道づくり【550万円】

博多川を活用した賑わい創出や、主要駅からの誘客を促進する装飾、観光拠点の検討等を行う。

また、冷泉小跡地で発見された石積み遺構の活用等に向けた計画の検討、櫛田表参道において景観向上に向けた無電柱化工事を行う。



<博多川を活用した賑わい創出>

福岡城・鴻臚館における観光振興事業【9,114万円】

福岡城・鴻臚館へのさらなる集客を図るため、城郭の雰囲気を感じることでできる装飾や照明の演出を行う。

鴻臚館整備・活用事業【6,916万円】

歴史文化の発信、観光・MICE拠点としての活用を目指し、鴻臚館東門や堀の一部の復元整備等を行う。



<鴻臚館整備イメージ>

生の松原元寇防塁集客促進事業【547万円】

史跡元寇防塁(箱崎地区)整備活用事業【306万円】

海辺を活かした観光振興事業

【2億936万円】

志賀島・北崎地区において、インバウンドの滞在促進や志賀島地区での市営渡船と連携したイベント開催、北崎地区における立ち寄りスポットの整備等を行う。



＜市営渡船と連携したイベント＞

海辺を活かした観光振興に向けた道づくり【4,333万円】

海の中道エリアにおける自転車通行空間整備【500万円】

海づり公園を活用した北崎地区活性化事業【2,424万円】

離島魅力発信事業【503万円】

玄界島・小呂島を観光資源として磨き上げや情報発信を行い、観光を通じた持続可能な地域づくりに取り組む。



＜映画撮影時の様子＞

映像を通じた誘客促進事業【1,088万円】

市内での映画やドラマ撮影を誘致するための補助制度を新設し、映像を通じた魅力発信による観光誘客に取り組む。

伝統産業によるインバウンド観光消費拡大事業【1,628万円】

はかた伝統工芸館運営事業【706万円】

はかた伝統工芸館の博多旧市街エリアへの仮移転を機に、観光客をターゲットとした、伝統工芸体験機能強化を行う。

アジア美術館の魅力向上【5,620万円】

国内外からの観光客など、多様な人々の集客拡大が見込める、警固公園への施設拡充に向けた基本計画策定等に取り組む。

都心部の河川空間を活かした賑わい創出事業【5,640万円】



魅力ある水辺空間の創出事業【1,535万円】

夜の文化・エンタメ集客事業

【1億142万円】

屋台プロモーション事業

【1,497万円】

商店街地域観光連携事業

【2,757万円】

アートによる観光集客事業

【2,500万円】

文化財を活用した魅力ある観光資源の創出・発信事業

【1億1,575万円】

博物館リニューアル推進事業

【1億69万円】

宿泊事業者受入環境充実の支援【8,512万円】

宿泊業界における人材不足解消に向けて、新卒・中途に加え、留学生に特化した合同就職説明会を開催するとともに、生産性向上や高付加価値化促進に向けた宿泊事業者向け補助金の拡充等を行う。

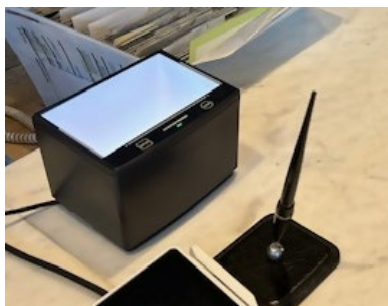
【令和6年度に補助金を活用して実施された取組み】



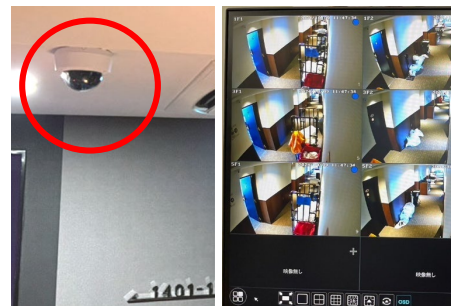
＜合同就職説明会の様子＞



＜合同就職説明会への出展・PR制作＞



＜パスポートリーダー導入＞



＜多機能カメラ＆モニター設置＞
※巡回業務のデジタル化

観光と市民生活の調和に向けたインバウンド受入推進【6,907万円】

インバウンドの受入におけるマナー啓発等の強化や、まちなかや公共交通における混雑防止に向けた手ぶら観光の推進等を実施。



＜インバウンドへのマナー啓発＞

安心安全な宿泊環境の確保【2,257万円】

健全な民泊施設を推進するため、民泊仲介サイトの監視、適切な標識の掲示推進、啓発及び相談対応を行う。

観光客等の移動円滑化施策の推進

【1,226万円】

公衆トイレ環境の向上

【1億459万円】

観光への理解促進事業

【5,248万円】

観光産業の活性化に向けた推進体制の強化

【1,481万円】

持続可能な観光振興の検討

【2,277万円】

（その他）宿泊税の賦課徴収に要する経費

【9,182万円】

宿泊税の円滑な賦課徴収のため、国内外の来訪者に向けた広報を行うほか、宿泊事業者の特別徴収に係る経費の一部を支援する報償金を交付。

※過去に宿泊税を活用した事業については市ホームページでご覧いただけます。

宿泊税の使途について

https://www.city.fukuoka.lg.jp/keizai/kankou-s/life/syuku_shito.html

